

ぶらり散歩報告 10月14日(月・祝)

「二子の散策と老舗料亭やよいでお茶とお菓子を」

講師：山本喜美枝氏(料亭やよい三代目女将)

この日は天気にも恵まれ、絶好の「散歩日和」となりました。二子新地駅から二子橋へ向かい、二子の渡し跡地、二子神社・出世稲荷を見学。二子神社では前日のお祭りの片付け中で、お神輿を見ることができました。また、近辺に点在する二子三業地の標識がある街灯を皆さん興味深く、探していました。

「料亭やよい」では、女将さんの案内で、昭和の風情を味わいつつ屋内を見学。茶室にて、お茶とお菓子をいただきました。二子地域の発展についてのビデオを観たり、スライドで散策の振り返りもしました。「とても楽しい企画でした」「二子の歴史に思いを馳せ、特別な時間を過ごすことができました」など感想が寄せられました。



▲「料亭やよい」にて

ミニ企画展 青木幸夫氏 切り絵シリーズ②② 「散歩道で出会った花、そして…」 11月1日(金)～12月27日(金)

第22回目を迎えた青木氏によるミニ企画展。

今回は散歩道で出会った風景や草花の新作6点が展示されています。遠くから見ると絵画のようですが、近くで見ると、繊細なラインで切り取られ表現された作品であることがわかります。当展示は1階スロープにて12月27日(金)まで開催しております。



▲今回の展示のようす

【お知らせ】

- ◆展示室の閉室について
11月25日(月)～11月29日(金)は、展示替えのため、閉室とさせていただきます。
- ◆年末・年始休館 12月28日(土)～1月4日(土) 年明けは1月5日(日)から開館いたします。

川崎市大山街道ふるさと館<利用案内>

電話：044(813)4705 FAX：044(712)0034

〒213-0001 川崎市高津区溝口 3-13-3

開館時間 9:30～21:30 (展示室 10:00～17:00)

休館日 年末年始(2024年12月28日～2025年1月4日)

施設点検日 毎月の最終金曜日(17時閉館)

※駐車は、貸館の利用団体用として、各団体1台とさせていただきます。

※ふるさと館では、イベントホール(定員64名)、第1会議室(12名)、第2会議室(30名)、和室(10名)が利用できます。

「ふれあいネット」からお申込みください。



ふるさと館HP

—ふるさと館案内図—

- ▶JR 南武線武蔵溝ノ口駅下車徒歩 7分
- ▶東急田園都市線高津駅下車徒歩 5分
- ▶東急バス 溝ノ口北口バスターミナル 5番のりばから乗車 2つめ「高津」下車徒歩 1分

大山街道

ふるさと館だより

No. 78

2024.11.6

〒213-0001 川崎市高津区溝口 3-13-3 Tel: 044-813-4705 Fax: 044-712-0034 http://furusatokan.info/

「高津・大山街道探究講座」参加者募集！ 大山街道や地域の歴史を学んでみませんか？

| 開催日時 | 講座名 | 講師 |
|------------------------------|---|---------------------------------|
| 2024/12/7(土) 10:00-12:00 | 二百年前の溝口周辺 —『新編武蔵国風土記稿』から考える— 徳川幕府は、1810年から20年間をかけて、武蔵野国の全ての町村の自然、歴史、農地や産物、名所旧跡、旧家や功績者などを詳しく調べ『新編武蔵国風土記稿』という本にまとめました。そこには溝口周辺の村々のことも、漏れなく書かれています。この風土記をもとに二百年前の溝口周辺がどのような所であったかを考えてみます。 | 小室 正紀氏 慶應義塾大学名誉教授 |
| 2024/12/21(土) 10:00-12:00 | 高津で養豚は普及したか？ —明治初期における協救社の養豚事業と高津区域— 一橋家家臣の角田米三郎は、明治2年に京都で養豚牧畜の全国普及を目指した協救社を設立します。高津区域にも養豚を普及しようとしていたことが見受けられる資料がいくつか残っています。本講座では、高津の村々が協救社の進出に対してどのように対応したのか、養豚は高津区域に根付いたのかなどの点について、江戸時代の牧畜経営なども交えながらお話しします。 | 菊地 悠介氏 川崎市市民ミュージアム学芸員 |
| 2025/1/18(土) 10:00-12:00 | 大山の歴史と大山道 —伊勢原市所蔵の浮世絵などをご紹介しながら— 伊勢原市の大山は、江戸時代に大山詣りでにぎわう日本を代表する名所でした。伊勢原には数多くの大山道が集まり、様々な文化財が残されています。この講座では、伊勢原市が所蔵する浮世絵などをご紹介しながら、大山の歴史と大山道についてお話しします。 | 諏訪間 伸氏 伊勢原市教育委員会教育総務課文化財係専門員 |

会場：大山街道ふるさと館 2階 イベントホール

定員：各回45名(先着順)

参加費：各回700円

申込：11月7日(木)9時30分から

当館メールフォームまたは電話にて受付開始。

※詳しくは当館HPでご確認ください。



▲五雲亭貞秀「大山良弁図」元治元年(1864) (伊勢原市教育委員会蔵)

企画展「爆誕!! かわさき100年物語」

後期会場:川崎市大山街道ふるさと館

2024年11月30日(土)~2025年2月24日(月・祝)

※年末年始 12/28~1/4 は休館

開場時間 10:00~17:00 観覧料無料

主催:川崎市市民ミュージアム 共催:川崎市大山街道ふるさと館

川崎市は、令和6(2024)年に市制施行から100周年を迎えました。これを機に川崎市の100年の歩みを回顧する展示を行ないます。川崎市は街道や鉄道沿いに、各地域が特色ある歴史を歩んできました。それぞれ異なる歴史を持つ町や村が包含され大都市が「爆誕」していく姿を、二つの会場を舞台に紹介していきます。関連イベントも盛りだくさん!

詳しくは川崎市市民ミュージアムのホームページをご覧ください。

川崎市市民
ミュージアム
HP



講演会:「川崎の近代化を支えた知られざる100年企業
ー水道木管からウッドデッキまでー」(参加無料・事前申込制)

◇川崎市民の生活にとって不可欠な役割を果たしてきた川崎市水道の成り立ちを、初期の水道管を納入してきた日本木槽木管株式会社の役割を交えながら講演します。

開催日:2025年1月26日(日)14:00~16:00 定員:40名(申込多数の場合は抽選)

申込期間:2024年12月17日(火)10:00~2025年1月14日(火)16:00

事前申込方法:川崎市市民ミュージアムのイベントページよりお申し込みください。

会場:川崎市大山街道ふるさと館 講師:松本洋幸氏(大正大学文学部准教授)

主催:川崎市市民ミュージアム

企画展 前期会場:東海道かわさき宿交流館 3階企画展示室

開催日時:2024年10月11日(金)~12月13日(金)

開場時間:9:00~17:00(最終入場は16:30)

※毎週月曜日は休館(月曜日が祝日の場合は開館し、その翌日が休館)

イベントページ
はこちらから



川崎市市制100周年記念 企画展 「懐かしい高津の風景」11月24日(日)まで 開催中

今年川崎市市制100周年。当企画展は、市制100周年事業として、高津地域のこの100年の移り変わりを写真等でご紹介しています。

第1章「100年前の高津」では、関東大震災後の二子橋の完成、鉄道の開通、円筒分水の完成など、昭和初期、戦前の高津を。第2章「戦後の高津」では茅葺屋根が目に残る田園風景、昭和30年代から50年代のこの地域の風景など。第3章「平成以降の高津」では、ノクティプラザの完成など武蔵溝ノ口駅周辺の再開発でまちが大きく変わった様子をご覧ください。

今回大貫様より大貫病院の掛け時計など貴重な資料を御寄贈いただき、公開しています。また「あなたの懐かしい高津」と題し、ご来場された方々から、高津の思い出を書いていただき展示しています。なお、「あなたの懐かしい高津」は、企画展終了後も当館スロープにて12月27日まで展示します。



▲展示のようす

企画展記念講演会報告

「現代に続く高津の文化」9月28日(土)

講師:菊地恒雄氏(日本地名研究所 事務局長)

開催中の企画展「懐かしい高津の風景」について、より深く知っていただくため企画しました。講師の菊地恒雄先生から、「私の懐かしい高津の姿と言えば、溝の口西口商店街です」というお話しから講演会が始まりました。武蔵溝ノ口駅南側の南武線の引き込み線について、大山街道沿いの商店の変遷、二ヶ領用水沿いの染物工場、平瀬川の流路跡の活用、南武線沿線が工場地帯だったことなど興味深いお話がいっぱいでした。参加者からは「地元の歴史を知ることでもちの景色が違って見えてきます。」「わかりやすく、はじめて聞くことが多かったです。」などの感想が寄せられました。



▲講演のようす

10月12日(土)伊勢原駅~大山阿夫利神社下社 秋季大山街道学習講座報告 講師:對馬醇一氏(郷土史研究家)

日差し良く涼しい風に恵まれた秋季大山街道学習講座。伊勢原駅からバスで、大山のふもと、石倉橋へ。比々多神社を見学、這子坂やとうふ坂など上り坂が続く厳しいコースでしたが皆さん元気に歩かれました。こま参道の茶屋で昼食の後、ケーブルで上り、大山阿夫利神社下社へ。すがすがしい山の空気に触れました。

ー昨年の春、赤坂御門をスタートして、16回目でゴール。最多の15回参加で歩かれたお二人を表彰し、参加者一同で祝福しました。大山阿夫利神社下社からの眺めは格別で、遠く江ノ島まで見渡すことができました。



大山に向かって歩くようす ▲ 大山阿夫利神社下社にて▲

9月22日(日)「秋のふるさと館まつり」報告

開催日の明け方まで大雨、その後も小雨が残り、昼間は風も強まるという予報の中、屋外で予定していた企画を館内に移動させるなど工夫して開催しました。ところが予報よりも天気は早めに回復、それまでの猛暑も一息つく気温で、多くの来場者で賑わいました。

館内ではお楽しみ抽選会を行い、皆様もれなく景品を手にとられ、併せて企画展もご覧いただきました。

イベントホールで行われたダンスは、7回公演が各回とも満員となり、一日中盛況でした。館内では、たいけんPARK、mama-on、手作りせっけん、あゆの絵付けなどのワークショップが、中庭では子供たちが平和をイメージして描いたキッズゲルニカが目玉となりました。ピロティでは、タタミノウエデというイベントで、畳の上でのゴロゴロタイム、日本語と英語での落語、インディアンフルートの演奏なども。お菓子などの青空マーケットもあり、多彩な内容で皆様秋の1日をお楽しみいただきました。大山街道アクションフォーラムやふるさと館サポーターズクラブの皆さんにご協力いただき楽しいイベントとなりました。

